



茨労発基 0612 第 3 号

平成 30 年 6 月 12 日

建設業労働災害防止協会茨城県支部

支部長 石津 健光 殿

茨城労働局長



死亡労働災害防止対策等の強化について（緊急要請）

平素より、労働災害防止をはじめとする労働基準行政の推進に御支援、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、茨城労働局では、第 13 次労働災害防止推進計画（計画期間は 2018 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで）を策定し、労働災害が増加傾向にある業種を重点業種として集中的な指導を行うなど、労働災害の減少に向けた取り組みを推進しているところです。

しかしながら、第 13 次労働災害防止推進計画の初年度にあたる、本年の休業 4 日以上全産業での死傷者数（5 月末現在）は 1,025 人となり、対前年比で 51 人（5.2%）の増加となっています。また、死亡者数についても 13 人となり、対前年比 4 人（44.4%）の増加となっていますが、特に、建設業では死亡者数が 7 人と前年同期と比較して激増（+4 人）し、極めて憂慮すべき事態となっています。

労働災害の急激な増加傾向に歯止めをかけるためには、それぞれの事業場において、安全衛生管理体制を確立させ、労使が一体となって計画的かつ継続的な安全衛生活動に取り組むことが必要です。

また、全国安全週間が 7 月 1 日から 7 日まで、その実効をあげるための準備として、全国安全週間準備期間が 6 月 1 日から 30 日までそれぞれ実施され、各職場で労働災害防止の重要性を認識し、安全活動の着実な実施を図ることとしています。

このような状況を踏まえ、別添のとおり「死亡労働災害防止対策等の強化について（緊急要請）」を行いますので、貴団体におかれましては、労働災害防止の取組みを一層強化していただくとともに、傘下会員事業場への周知につきましても特段の御配慮をお願いいたします。

死亡労働災害防止対策等の強化について(緊急要請)

茨城労働局では、第13次労働災害防止推進計画(計画期間:2018年4月1日~2023年3月31日)を策定し、労働災害が増加傾向にある業種を重点業種として集中的な指導を行うなど、労働災害減少に向けた取り組みを推進しているところです。

しかしながら、第13次労働災害防止推進計画の初年度にあたる、本年の休業4日以上全産業での死傷者数(5月末現在)は1,025人となり、対前年比で51人(5.2%)の増加となっています。また、死亡者数についても13人となり、対前年比4人(44.4%)の増加となっていますが、特に、建設業では死亡者数が7人と前年同期と比較して激増(+4人)し、極めて憂慮すべき事態となっています。

労働災害の急激な増加傾向に歯止めをかけるためには、それぞれの事業場において、安全衛生管理体制を確立させ、労使が一体となって計画的かつ継続的な安全衛生活動に取り組むことが必要です。

事業場の皆様におかれましては、7月1日から展開されます「全国安全週間」を契機として、関係法令をはじめとした作業手順などの基本的なルールが守られているか今一度総点検していただくとともに、労働者の安全意識を高揚させる下記の取り組みを活発化させるよう要請いたします。

記

- 1 経営トップの参加の下に職場の安全パトロールを実施するなど、職場内における安全衛生活動の総点検を実施
- 2 安全管理者等の選任義務がない事業場においても安全の担当者(安全推進者)を配置するなど、事業場の安全衛生管理体制を充実
- 3 雇入れ時教育を徹底するなど、効果的な安全衛生教育を実施
- 4 職場点検、4S活動、危険予知活動、危険の「見える化」、ヒヤリ・ハット対策、リスクアセスメントなどの日常的な安全衛生活動を活性化
- 5 自覚症状にかかわらず、積極的な水分・塩分の摂取による熱中症予防対策を徹底

平成30年6月12日
茨城労働局長 福元 俊成

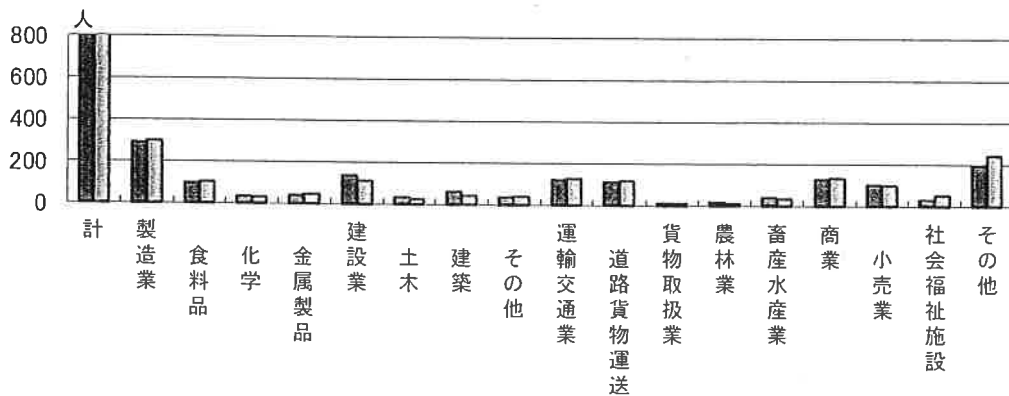
労働災害発生状況(茨城)

(平成30年5月末現在)

業種別	死傷者数(休業4日以上)		死亡者数		増減	
	29年 1月~5月	30年 1月~5月	29年 1月~5月	30年 1月~5月	死傷	死亡
計	974	1,025	9	13	51	4
製造業	291	298	1	1	7	0
食料品	98	104	0	0	6	0
化学	34	30	0	0	-4	0
金属製品	40	48	1	0	8	-1
建設業	137	111	3	7	-26	4
土木	36	26	3	4	-10	1
建築	62	44	0	1	-18	1
その他	39	41	0	2	2	2
運輸交通業	122	129	1	3	7	2
道路貨物運送業	112	118	1	3	6	2
貨物取扱業	12	13	1	0	1	-1
農林業	19	12	1	0	-7	-1
畜産水産業	42	33	2	0	-9	-2
商業	128	134	0	1	6	1
小売業	102	99	0	1	-3	1
社会福祉施設	30	53	0	0	23	0
その他	193	242	0	1	49	1

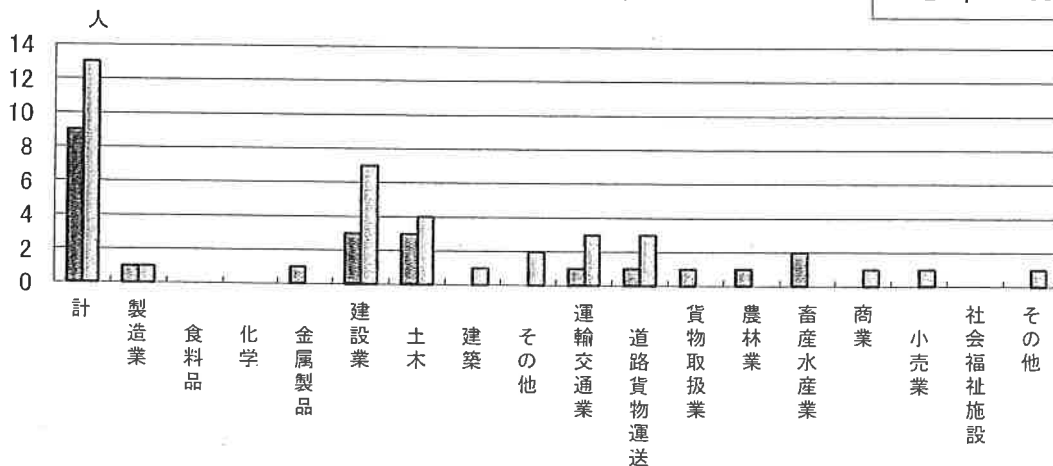
休業4日以上

■29年 □30年



死亡者数

■29年 □30年



平成 3 0 年 死 亡 災 害 事 例

NO. 発生月 時間帯	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	事故の型	災害の概要
			起因物	
No.1 1月 15～16時	作業者 30歳代 2年	ガラス・ 同製品製造業	飛来・落下 その他の 用具	資材倉庫内で資材の移動作業中、床に置かれた木製パレット（約38kg）の位置をずらすため引きずりながら後ろ向きに後退したところ、停まっていたフォークリフトと接触し、持っていたパレットが両足大腿部に当たり、クラッシュシンドロームを発症し、8日後に死亡した。
No.2 1月 8～9時	作業者 60歳代 3年	ゴルフ場	転倒 その他の 環境等	ゴルフ場のカート道路の除雪作業中、凍結したカート道路を歩行している時に、足を滑らせ後方に転倒した。入院加療していたが、2週間後に死亡した。
No.3 2月 9～10時	作業者 70歳代 30年	その他の 土木工事業	激突され 整地・運 搬・積込み 用機械	資材置場の地ならし作業をしていたドラグ・ショベルが後退したところ、後ろにいた被災者がひかれ受傷した。その後病院に搬送されたが、2日後に死亡した。
No.4 2月 17～18時	現場職員 20歳代 3年	建築工事業	墜落・転落 階段・棧橋	作業現場の施工状況を確認するため、地上より約4メートル下にある地下作業場に梯子を使用して降りていたところ、墜落し、翌日死亡した。
No.5 3月 16～17時	土工 50歳代 30年	上下水道 工事業	崩壊・倒壊 地山・岩石	下水道工事現場において、掘削溝（深さ約1.7m）内に入り、民家へ引き込むための取出し管周辺の掘削を手掘りで行っていたところ、崩壊した土砂に埋まり死亡した。
No.6 3月 14～15時	運転者 60歳代 9年	道路貨物 運送業	激突され 移動式 クレーン	工場の敷地内で、トラックの荷の積み込み作業を終えて運転席に戻ろうとしたところ、別のトラックにはねられて死亡した。
No.7 3月 4～5時	運転者 30歳代 11ヶ月	道路貨物 運送業	交通事故 トラック	トラックを運転して荷物を運搬中、片側2車線の高速道路上で故障し、走行車線に停車して車外で作業していたところ、走行してきたトラックに追突されて死亡した。
No.8 3月 14～15時	電工 40歳代 5年	電気通信 工事業	墜落・転落 その他の 用具	電柱の上部に昇降して器具を設置中、安全帯のフックを間違えて工具差しの金具に取付けたため、金具が破断して地上に墜落し、死亡した。
No.9 4月 2～3時	配達員 50歳代 6年	新聞販売業	交通事故 乗用車・バ ス・バイク	原動機付自転車を運転して、新聞配達を行っていたところ、道路を右折するときに対向車線を走行してきた車と衝突し、死亡した。
No.10 4月 14～15時	管理者 40歳代 20年	その他の 建設業	交通事故 トラック	道路の修繕作業中、走行してきたトラックにはねられて、1人が死亡、1人が重傷を負った。
No.11 5月 11～12時	積み卸し 作業 60歳代 3年	道路貨物 運送業	墜落・転落 作業床・ 歩み板	移動式クレーンを使用して医療機器を3階から1階に降ろすため、後ろ向きに引っ張るように3階踊り場に移動させたところ、既に開放していた手すりのない状態の踊り場端部より墜落し、死亡した。
No.12 5月 14～15時	作業者 70歳代 3年	その他の 土木工事業	切れ・ こすれ その他の一 般動力機械	竹林の伐採作業中、伐採した竹が付近の電柱に引っかかるのを防ぐため、被災者が竹を支えていたがバランスを崩し、膝が下がったところに刈払機の歯が当たって両足大腿部を深く切り、死亡した。
No.13 5月 10～11時	作業者 20歳代 1ヶ月	その他の 土木工事業	激突され その他の 一般動力 機械	堤防斜面の除草作業中、乗用集草機（重量1.5t、立位運転）を運転し集草作業を行っていたところ、集草機の運転台（35cm×90cm）から転落し、後退してきた集草機にひかれ死亡した。